

## 聖書研究

## 第六課 クリスチャンの力の源

マタイ 5 : 20 で、イエスは言った、「わたしは言うておく。あなたがたの義が律法学者やパリサイ人の義にまさっていなければ、決して天国に、入ることは出来ない」。彼が話していたのは、どんな種類の義についてだったのでしょうか？ 私たちは、私たちは、本当に自身で従うことが出来るのでしょうか？ 私たちの個人的な罪との戦いはどうでしょうか？

イエスは、この地上で、義の典型でした。彼は、あなたと私のために、完全な生涯を送りました。そのことは私たちにとって何を意味しているのでしょうか。それを知りたければ、私たちは、まずイエスは、どのように生きたかを学ばなければなりません。彼の力の源は、何だったのでしょうか？

### 1. イエスは、すべての点で、私たち同じようにされましたか？ ヘブル 2 : 14-18 ; 10 : 5

---

注：イエスは、すべての点で、私たちのようにされました。彼は、まるで私たちのひとりのようにになりました。彼は、戦いと誘惑を経験しました。彼は、飢えと、渇きと、疲れを覚えました。彼は私たちの救い主、第二のアダムになるための資格を取ることが出来るために、私たちのようにならなければなりません。彼はすべての点で、私たちのための模範となりました。

### 2. もし、イエスがすべての点で、私たちのようであったのなら、彼の行った奇跡を、彼はどのように成し遂げたのでしょうか、そしてどのように彼はすべての点で、従順に生きたのでしょうか？ ヨハネ 5 : 19 ; 6 : 57 ; 8 : 28 ; 14 : 8-11 ; 10 : 30-33

---

注：御子イエスの働きは、天父との密接な密接につながっていたので、天父の働きがなされたのでした。イエスは、すべての事において、彼の父に完全に頼っていました。奇跡、いやし、教えは、すべて、天父を通してなされました。イエスは完全に人間になり、力を天父に求め、頼ったのです。

### 3. 天父との結合という原則は、どのように私たちに適用されますか？ ヨハネ 15 : 1-8

---

注：リンゴの木は、実を結びます。なぜならそれはリンゴの木だからです。決してリンゴの木になるためではありません。クリスチャンの生涯にも、同じことが言えます。クリスチャンは良いことをします。なぜなら彼はクリスチャンだからです。決してクリスチャンになるためにするではありません。もし私たちが、キリストのうちにとどまるならば、キリストは私たちの内に生きます。「罪深い人間は、神への信仰を持ち、神と生きた関係を持続することによってのみ義となることが出来る」。Ⅱ各時代の希望 p 16,18

### 4. イエスは天父との生きた関係を、どのように持続したのでしょうか？ マルコ 1 : 35

---

## 5. イエスが祈ったのは、どんな型の祈りですか？マタイ 26 : 39 ; ヨハネ 6 : 38

---

注：イエスは全ての事において、私たちの模範であるはずでした。ちょうどイエスが父に明け渡したように、私たちもイエスに明け渡すのです。「高慢な心は、自分の行為によって救いを得ようと努力する。しかし天国に入る権利書と資格はキリストの義のうちにある。自分自身の弱さを自覚し、すべてのうぬぼれを取り去って、自分自身を神の支配にまかせるまでは、主は、その人の回復のために何もすることがお出来にならない。自分自身を神にまかせるときに、彼は、神が与えようと待っておられる賜物を受けることが出来る」。Ⅱ各時代の希望 p. 4

## 実際的な祈りの原則

### 6. 祈りの時間 マルコ 1 : 35 ; 詩 5 : 3

---

注：神は、私たちと、終日交わりを持つことを楽しみます。しかしながら、もし私たちが、私たちの一日を始めるにあたって、恵みと力を神に祈り求めないならば、私たちはしばしば、重要な機会を怠ったために、間違いをしてしまい、夕方にはゆるしを求める自分の姿を見出すのです。

### 7. 祈りの場所 マルコ 1 : 35 ; マタイ 6 : 6

---

注：あなたは、あなたの神との時間を、妨げられない特別な場所を見つけることが大切です。それは、あなたのベッドのそばの特別な椅子かも知れないし、あるいは裏庭のどこかであるかも知れません。私は、イエスがしたように、自然の中の戸外に行き行って祈ることを決心した時に、充電されました。朝の外の甲板の上であろうと、あるいは夜空の星の下であろうと、私は、神の存在をさらに十分に感じます。

### 8. 祈りの方法 マタイ 6 : 7, 8

---

注：祈りは、友達に語るように、心を神に打ち明けることであります、そして、どんな時でも、どんな場所でも、どんな形でも祈ることができます。しかし、一人きりの特別なときに、彼の父との親しい交わりに、イエスはひざまずいて、声を出して祈りました。

**イエスにとどまることは、彼のみ言葉が、あなたにとどまるようにさせることです。**

クリスチャンとして、どのように生きるかということに関して、イエスは、彼と結合されることの本当の意味を、誤解の余地のないほど明白にされました。「あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう」。ヨハネ 15 : 7

キリストにとどまることは、彼の言葉、彼の教え、彼の生命を与える原則が、あなたの心を満たし、あなたの生活を変えることを意味します。神の言葉は生命を与える力を含んでいます。このようにしてあなたの生活の力の源につながるのです。

## 9. ある人は、神の言葉を読んでも、少ししか利益を受けません。なぜでしょう？

ヘブル 4 : 2

注：聖書には 3,000 以上の約束があります。それらは、愛する天父からの保護と関心の保証です。信仰によってそれらを受け入れることは、私たちの人生に彼の愛と力、平和と静かな保証をもたらします。「われわれを天に結びつけ、暗黒の勢力と戦う力をわれわれに与えてくれるのは信仰である。キリストを通して、神は、あらゆる罪の傾向を征服し、あらゆる誘惑に抵抗する手段をお与えになった。しかし、自分は信仰が足りないと思って、キリストから離れたままでいる者が多い。こういう魂は、無力と無価値のままに、あわれみ深い救い主のいつくしみにすがりなさい。自分を見ないで、キリストを見なさい。この世におられたときに、病人をいやし悪鬼を追い出されたお方は、今日も同じに偉大なあがない主であられる。信仰は神のみことばによって生まれる。だから『わたしに来る者を決して拒みはしない』とのキリストの約束をしっかりとつかみなさい（ヨハネ 6 : 37）『信じます。不信仰なわたしを、お助けください』と叫んで、イエスの足元に身を投げなさい（マルコ 9 : 24）そうするかぎり、あなたは決して滅びることはない、決して！』。Ⅱ各時代の希望 p. 202,203

## 10. キリストなしで、私たち自身で何をする事が出来ますか？ ヨハネ 15 : 5

### 11. キリストと共にあるなら、私たちは何が出来ますか？ ペリピ 4 : 13

### 12. 私たちに内のキリストの義の目的は何ですか？

ヨハネ 15 : 8 ; 詩 23 : 3 ; イザヤ 61 : 3 ; ペリピ 1 : 11

注：神が言っておられる栄光とは、自己中心の利己的な種類の栄光ではなく、むしろ他を祝福する結果をもたらすものなのです。イエスは、ヨハネ 12 : 32 で言われました、「そして、わたしがこの地から上げられる時には、すべての人をわたしのところに引きよせるであろう」。神が高められ、神に栄光を帰し、人類を救うという目的のためにときにはじめて、イエス自身に栄光がもたらされるのでした。彼の栄光は、世界に祝福をもたらすのです。

**結論：**ちょうど、赤ん坊が、母親の子宮の中で、へそを通して栄養を受けなければならないように、私たちもまたそのように、命のつながりを通して栄養を受けるのです。それがなければ、私たちは悪に対する私たちの戦いに無力です。それがなければ、私たちは、誘惑と罪

とに対する戦いに、まったく無力です。私たちの行いは、私たちを救いません、しかし、行いは、私たちの人生において、神に対する本物の信仰の証拠となります。そしてそれは、他の人たちをキリストと救いに導く助けになります。

## 第六課の答えとなる鍵

質問 1. はい。

質問 2. それは、彼の内に住んでいる父が、その働きをしていたのです。

質問 3. ちょうど、イエスが彼の力を、彼の父に頼っていたように、私たちも、そのように私たちの力と命を受け取るために、イエスに結びつけられているはずです。

質問 4. 意思のやりとり（交際）または祈りを通して。

質問 5. 明け渡し、または、譲渡の祈り。

質問 6. その日の始め、または、朝に。

質問 7. あなたが、妨げられない場所。

質問 8. ちょうど、神に心を打ち明けるように。

質問 9. 彼らは、それを信仰と結合しなかった。

質問 10. 何もない。

質問 11. すべてのもの。

質問 12. 神の栄光のために。

